



# 御在所の風



志布志市立田之浦小学校  
学校だより 文責：長野則子  
令和4年5月24日発行

教育目標 「心豊かでたくましい体もち、自ら学ぶ『田之浦の子』を育成する」

めざす子どもの姿 【やさしく】思いやりの心もち、相手を尊重できる子  
【かしこく】自ら学び、考え、粘り強く学習を続ける子  
【たくましく】命の大切さを知り、自ら鍛える子



## 言葉の持つ力 ～子供たちのすてきな言葉～

校長 長野 則子

新年度がスタートして2ヶ月が過ぎようとしています。32人の子供たちは学校生活のリズムをしっかりと身に付け、元気に毎日を過ごしています。子供たちが笑顔で登校し、笑顔で下校する様子を見てとても嬉しく思う毎日です。この2ヶ月の子供たちの様子を見ていて他にも嬉しく思うことがあります。それは、子供たちのあいさつと言葉です。

5月の全校朝会で、今年も田之浦小では「そろえる～あいさつ、くつ・スリッパ～」に取り組むことを話しました。その中で、あいさつは「立ち止まって、自分から、相手の目を見て、笑顔で元気よく」ということにみんなで取り組むことを伝えました。子供たちは、毎日あいさつのめあてを実行してくれ、立ち止まって元気な声であいさつをしてくれます。校庭入り口で子供たちの登校を待っていると、校庭から「おはよう」という元気な声が聞こえてきます。朝の体力づくりで校庭を走っている児童が、登校する子供たちにあいさつをしていました。登校してきた子供たちも「おはよう」とあいさつを返します。校長室で仕事をしていると、外から「こんにちは」と子供の声が聞こえました。体育館の前で絵を描いていた児童の来客へのあいさつの声でした。その児童は校長室へ「校長先生、お客さんです。」と知らせに来てくれました。来校された方から、「元気なあいさつで、気持ちがいいですね。」との言葉をいただき、児童もとても嬉しそうでした。子供たちの素敵なあいさつの声で、私もとても嬉しい気持ちになりました。

また、朝の体力づくりで縄跳びをしている子供たちが、「すごいね。」「じょうず。」「いっしょにやろう。」「できるできる。」と言葉を掛け合っています。また、跳んだ回数を数えてもらうと「ありがとう」の言葉も。近くにいた職員が、「その言葉、素敵ですね。」と声をかけると、にっこり笑顔の子供たち。子供たちの素敵な言葉を聞き、笑顔を見て、また嬉しい気持ちになりました。

言葉は人を元気にしてくれますが、その逆もあります。相手を悲しい気持ちにさせる言葉ではなく、相手を思いやる言葉を使いたいと思います。相手を思いやる言葉で笑顔も生まれます。肯定的な言葉でやる気も生まれます。これからも言葉を大切に、笑顔の輪が広がるといいなと思います。



【朝のあいさつ】



【朝の体力づくり】



## 児童の安全な登下校について（お願い）

【保護者の皆様へ】登下校時、安全運転での児童送迎を行っていただきありがとうございます。今後も登下校時、田之浦小通用門入口から旧田之浦中、旧田之浦中から県道へ向かう道路は道幅が狭いため、30キロ制限での安全運転をよろしく願いいたします。

【地域の皆様へ】今年度児童数が増え送迎車の台数が増えたことから、児童の安全面を考慮し、登下校の乗降場所をこれまでの二百段階段下から旧田之浦中学校体育館前に変更いたしました。登下校時、田之浦小通用門入口から旧田之浦中を通り県道へ向かう道路を保護者の車が通行いたします。ご迷惑をおかけしますが、安全に気を付け走行いたしますので、御理解・御協力をよろしく願いいたします。